

ワーカーズ・コレクティブ紹介講座

生活クラブの学校企画

◆ ハンディがあってもなくても 共に働く～とをもって事業体の実践～



ハンディの有無にかかわらずに働ける場をつくること、お互いの居場所になります。メンバーの意見を聞きながら、フラットな関係性で運営体制をつくるための心得と試行錯誤してきた取組みを紹介します。

3月26日(土) 14:00~16:00 *オンライン併用講座

申込締切:3月18日(金)

講師:古池 初美さん、菅 順子さん、浅川 悦子さん、佐久間 寛子さん、重田 益美さん、菰田 レエ也さん(とをもって事業体)

資料代:500円

◆ みんなでともに働く場を創り出そう!



ともに働く事業所としてスタートして12年、NPO法人コンチェルティーノの活動を紹介します。主要事業であるせっけんクリーニングの実践から、お掃除でせっけん類を使いこなすコツもご紹介します。

4月23日(土) 14:00~16:00 *オンライン併用講座

申込締切:4月15日(金)

講師:浅川 悦子さん(NPO法人コンチェルティーノ 代表)

資料代:500円

【申込み・お問合せ】東京ワーカーズ・コレクティブ協同組合 TEL 03-3207-1941

サポーター登録のお願い

あなたの1日10円で、つながり・支えあう豊かなまちを!



インクルファンドではこれまでにサポーターからの月々300円の登録寄付を財源に、居場所づくり、子育て支援、障がい者(児)支援事業など、様々な活動に助成を行ってきました。ぜひサポーター登録していただき、地域の活動をご支援ください!

● 班・個別配送の方は注文用紙(OCR用紙)に下記6桁の注文番号と申込口数をお書きください。

インクルファンド登録寄付	1口300円
申込期間	3/14(月)~3/18(金)
注文番号	104311
集金月	2022年4月から毎月



インターネット注文 eくらぶから
もお申込みいただけます。

*登録寄付は中止のお申し出がない限り継続します。
すでに登録されている方は、改めての申し込みは不要です

● デポーター組合員の方はWEBページから <https://www.inclusive-gr.com/supporter/> にご登録いただくかお電話にてご連絡ください。



● お問合せ: インクルーシブ事業連合事務局 Tel:03-5426-5207 Fax:03-5426-5203
(生活クラブ東京 たすけあいネットワーク事業部内)



発行:生活クラブ運動グループ・インクルーシブ事業連合 発行責任者:小寺浩子 <https://inclusive-gr.com/>

~子育て支援フォーラム2021~

地域の資源がつながって子育てを支えるために!

インクルーシブ事業連合では1/8に子育て支援フォーラムを開催しました。2016年の児童福祉法の改正により区部では今後児童相談所の設置が進



んでいきます。2020年4月に先行して設置された江戸川区から、児童相談所援助課長の上坂かおりさんを講師にお招きし、児童相談所の担う役割や地域との連携についてお話いただきました。また、子育て支援事業を行う生活クラブ運動グループの3団体(企業組合ワーカーズ・コレクティブキッズルームていんかあべる、NPO・ACTたすけあい 江戸川たすけあいワーカーズもも、NPO・たすけあいワーカーズさざんか)からは活動事例を報告していただ

きました。上坂さんからは児童相談所の取り組みや地域との連携の重要性をお話していただき、児童相談所への理解を深めることができました。また、運動グループからは具体的な事例の報告をしていただき、地域に根差した活動が子育て支援の重要な役割を担っていると感じました。今後、様々な地域に児童相談所が設置されますが、誰もが安心して暮らし続けられ



グループディスカッションの様子

る地域づくりのために、市民と行政が連携したまちづくりをすすめていきたいです。(インクルーシブ事業連合事務局 藤田彩加)

1月29日 インクルーシブ事業連合 福祉事業講演会報告

楽しい、カッコいい、自分たちが行きたい場をつくる

講師: NPO法人シニアライフセラピー研究所代表 鈴木しげさん



←カフェ&ランチ・レストランかめキッチンの様子

NPO法人シニアライフセラピー研究所は藤沢市鶴沼海岸で高齢者福祉をはじめ、障害福祉、傾聴ボランティア育成など、現在ボランティア事業25・収益事業18計43事業を展開しています。

代表の鈴木しげさんはケアマネージャーをしつつ、2006年に実家を開放し「憩いのサロン亀吉」を開始し活動が始まりました。

2007年にはデイサービスに絶対行かないと言っている人がいて困っているという地域包括支援センターからの相談をきっかけに要支援者向けカルチャーデイサービス「カルチャースクール亀吉」が誕生。それからどんなデイなら行きたいかをみんなで話し合い、自分たちの望むデイを自分たちでつくっていきます。2018年にオープンした、カフェ&ランチ・レストラン「かめキッチン」のランチメニューは、デイサービス「カルチャースクール亀吉」の利用者さんたちが厨房で作り提供しています。労働

の対価として「かめキッチン」の売上から謝金を受け取ることで、機能回復だけでなく、社会との接点、生きがいにも繋がっています。

・デイサービスとテーマパーク、同じお金をかけていきたいのはどちらか。人を巻き込むには「楽しい・カッコいい・お得」がキーワード。

・支援する・されるのではない関係で、利用者とボランティアがデイサービスをつくる。

・福祉とは幸せを意味する言葉で人を「助ける」のではなく幸せにすること。支援する側の方が幸福感は高くなり、必要とされることが幸福感につながる。

・頑張らずに回るしくみが大事で、みんなが楽しんで成り立つのがいちばん。などなど、講演の中では目からウロコのお話が盛りだくさんでした。来年度はぜひ現地の見学ツアーを企画したいと考えています。

(インクルーシブ事業連合事務局 平岡晴子)

【インクルーシブ事業連合構成団体】生活クラブ生協・東京/NPO法人アビリティクラブたすけあい(ACT)/ACTたすけあいワーカーズ・コレクティブ連合/NPO法人ACT人とまちづくり/社会福祉法人悠遊/東京ワーカーズ・コレクティブ協同組合/東京・生活者ネットワーク/東京CPB(コミュニティパワーバンク)/NPO法人市民シンクタンクひと・まち社/NPO法人まちぼっと/環境まちづくりNPOエコメッセ

地域に必要なしくみづくりに向けて

2021年度 安心ネットワーク構想連絡会

安心ネットワーク構想連絡会は、運動グループ地域協議会が市民版地域福祉計画で描いた様々な事例を共有し、さらに多くの地域での計画づくりや計画の実現につなげることを目的として毎年開催しています。

現在、市民版地域福祉計画は16地域で策定され、11地域で策定中または策定予定です。2月8日に行われた連絡会では、小平、中野、杉並の3地域から報告を受け、参加した地域の計画づくりや実行に関する情報を共有しました。

小平地域協議会

地域を知るために子育て、介護、障がい者をテーマに小平市の出前講座を受講、その後、まちに足りない機能や作りたいしくみなどワークショップで出しました。完成した計画は「相談・情報ステーション・居場所となる場所づくり」、「圏ケイアッシュ(配達ワーカーズ)の片付け事業立ち上げの連携」が大きなテーマになっています。片付け事業については、準備会「おきな木えっさほいさプロジェクト」を立ち上げ、準備を進めています。(報告者:宮本愛さん・写真、市川枝里子さん)

中野地域協議会

学習会や施設見学等を何度も行い、地域の課題を整理した結果、子どものあそび場や居場所に課題があることがわかり、「中野っ子のびのびプロジェクト」を立ち上げました。実態把握のため、

グループヒアリングなど様々な手法でアンケート調査を実施。見えてきた課題を中野区への政策提案に結びました。その後、中野区では「中野区基本計画」にプレーパーク活動支援事業が明記され、児童館の機能拡充や中高生の交流・活動支援の場などへの取り組みも広がりました。この調査活動、政策提案を経て「中野みんなのふるさとプロジェクト」を始動。今後は計画をアップデートしながら活動を進めていきます。(報告者:細野かよこさん)

杉並地域協議会

まちのほっとスペース2か所が開設されています。上井草のすてっぷ&すきっぷは、2020年に(一社)「困ったときはSOS」から活動を引き継ぎ、ほっとスペースを中心にサロン活動や相談事業等を行っています。成田西「なかまの家」は2013年に空き家を活用スタート。ランチと喫茶、サロン活動が中心です。また、中高生の居場所「ゆう杉並」が近く、昨年の夏休みには連携して子どもの食事支援「キッチンなかまの家」を始めました。どちらも地域包括ケアシステム構築のために区が中学校区ごとに設置する地域の協議体に参加しています。(報告者:奥田雅子さん)

それぞれテーマをもって活動している3地域の報告を受け、参加した地域協議会の皆さんからも計画づくりや実行に向けて前向きな現状報告がありました。(インクルーシブ事業連合事務局 平岡晴子)

2021 まちの縁がわフォーラム

子どもから高齢者まで、地域の居場所「まちのほっとスペース」を拡散しよう!

2021 まちの縁がわフォーラム「子どもから高齢者まで、地域の居場所『まちのほっとスペース』を拡散しよう!」が11/13に開催されました。

ワーカーズまちの縁がわは、地域の人々の開かれた居場所である「ほっとスペース」を運営し、人と人が繋がり、相談したり、たすけあえる、安心できる地域づくりを目指し、まちのコーディネート機能をつくることを目的としています。ほっとスペースは会食の他、困りごとの相談や、ちょっとした手助けも行っており、多世代が集う地域の居場所となっています。



パネルディスカッションの様子。左はコーディネーターの香丸真理子さん



ハッピーエナジー株式会社・西本良行さん(←写真)の基調講演では、小型水力発電自然エネルギーの電気を販売した利益の50%をソーシャルアクション(社会貢献活動)に還元しており、2016年からこども食堂(コミュニティ食堂)を開催。それ以外にもシングルマザーや子育てママの支援企画や無料の散髪イベントも大阪・東京で開催されています。後半のパネルディスカッションでは5つの縁がわワーカーズからそれぞれの特徴を生かした活動報告がされました。また、世田谷区高齢福祉課の杉中寛之さんからは社会福祉協議会がすすめる地域支えあい活動についての紹介がありました。

地域の繋がりがとても重要になっている今、誰もが気軽に足を運べる地域の居場所を更に増やしていくことを目指していきます。

(インクルーシブ事業連合事務局 藤田彩加)

インクルーシブ事業連合の構成団体を紹介します。



みんなで作る たすけあいのまち!



NPO 法人アビリティクラブたすけあい



私たちはたすけあいの心をつなぎ、安心して住み慣れたまちで暮らし続けられる地域づくりを目指し活動しています。都内に約5,400人の会員がいます。

都内 15ヶ所!



おもな活動

アクト

- * ACTつながるケア 家事援助・子育て・介護など
- * アビリティ共済
- * 地域のコミュニティづくり まちの縁がわ、いきいきサークル
- * ケア者の人材育成・公開講座
- * 成年後見事業
- * 福祉に関する政策提言 など

Pick up!

暮らしの困った!をサポートします ACTつながるケア

病気やケガ、歳をとり家事ができなくなった、産前産後で親に頼れない、介護保険だけでは間に合わない...

こんなときにお住まいの地域のたすけあいワーカーズが、ケアに伺います。

6月からたすけあいワーカーズがない地域も、サービスが受けられるように事業展開中です。



生活クラブと連携してすすめる ほっとスペース(まちの縁がわ)



さくらさくら(町田市) 団地商店街の空き店舗で開所。子ども食堂「さくらんぼう」はエッコロ子ども基金の助成も受けています



すてっぷ&すきっぷ(杉並区) 「街かどサロン」はみんなで折り紙



テラツツァ(府中市) 親子連れでのんびり心のこもったランチも大好評!

ここに来るとほっとする 笑顔になれる、そんな居場所です!

まちの縁がわへ「コロナ禍における事業継続応援カンパ」のご支援、ありがとうございました。

支えあう仲間になりませんか ACT 会員募集中!



お問い合わせはお気軽にどうぞ
アビリティクラブたすけあい 事務局
TEL 03-5302-0393
E-mail tokyoact@maple.ocn.ne.jp

